

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公開番号】特開 2018-190717 (P2018-190717A)

【公開日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-046

【出願番号】特願 2018-85673 (P2018-85673)

【国際特許分類】

F 2 1 S 41/47 (2018.01)

F 2 1 S 45/47 (2018.01)

F 2 1 V 29/503 (2015.01)

F 2 1 V 29/70 (2015.01)

F 2 1 W 102/135 (2018.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

F 2 1 Y 115/15 (2016.01)

F 2 1 Y 115/30 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 41/47

F 2 1 S 45/47

F 2 1 V 29/503

F 2 1 V 29/70

F 2 1 W 102:135

F 2 1 Y 115:10

F 2 1 Y 115:15

F 2 1 Y 115:30

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 27 日 (2021.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ランプ組立体で使用するためのヒートシンクであって、前記ヒートシンクは一体型の本体を含み、前記一体型の本体が、

第 1 平面内にあり、光線を放出するための少なくとも 1 つの光源を受けて支持するように適合されている第 1 部分と、

前記第 1 平面に略直交する第 2 平面にある第 2 部分であって、前記第 1 部分から第 1 方向に延び、前記ランプ組立体のハウジングに取り付けられるように構成されている、前記第 2 部分と、

前記第 1 平面に略直交するとともに前記第 2 平面に略平行な第 3 平面内にあり、前記第 1 部分から前記第 1 方向に延びる第 3 部分であって、前記ランプ組立体の外に向かう前記光線の少なくとも第 1 部分を遮断するとともに前記ランプ組立体の反射面に向かう前記光線の第 2 部分を遮断しないように構成された遮蔽体として構成されている、前記第 3 部分と、

を備えている、ヒートシンク。

【請求項 2】

前記第 3 部分が、前記ランプ組立体の非光学面に向けて投射された光線を遮断するように構成されている、請求項 1 に記載のヒートシンク。

【請求項 3】

ランプ組立体で使用するためのヒートシンクであって、前記ヒートシンクは一体型の本体を含み、前記一体型の本体が、

第 1 平面内にあり、光線を発する少なくとも 1 つの光源を受けて支持するように適合されている第 1 部分と、

前記第 1 平面に略直交する第 2 平面内にあり、前記第 1 部分から第 1 方向に延び、前記ランプ組立体のハウジングに取り付けられるように構成された第 2 部分と

前記第 1 平面に略直交するとともに前記第 2 平面に略平行な第 3 平面内にあり、前記第 1 部分から前記第 1 方向に延びる第 3 部分であって、前記光線の少なくとも一部を遮断するための遮蔽体として構成されている、前記第 3 部分と、
を備え、

前記ランプ組立体は、反射面を有し、

前記第 3 部分は、前記反射面から遠ざかるように投射された光線を遮断するように構成されている、
ヒートシンク。

【請求項 4】

前記第 3 部分は、前記反射面から遠ざかるように前記ランプ組立体の外に投射された光線を遮断するように構成されている、請求項 3 に記載のヒートシンク。

【請求項 5】

前記第 2 部分が前記第 1 方向に第 1 の距離だけ延び、前記第 3 部分が前記第 1 方向に第 2 の距離だけ延び、前記第 1 の距離が前記第 2 の距離よりも大きい、請求項 1 に記載のヒートシンク。

【請求項 6】

前記第 3 部分が、前記第 1 方向に延びるように曲げられた前記ヒートシンクの形状の断面を有している、請求項 1 に記載のヒートシンク。

【請求項 7】

前記第 1 部分がタブ部分を備え、前記タブ部分の各々が、前記第 1 平面に略直交するとともに前記第 1 方向と略反対の第 2 方向に延びている、請求項 6 に記載のヒートシンク。

【請求項 8】

前記タブ部分の各々が、前記第 2 方向に延びるように曲げられた前記ヒートシンクの形状の断面を有している、請求項 7 に記載のヒートシンク。

【請求項 9】

ランプ組立体で使用するためのヒートシンクであって、前記ヒートシンクは一体型の本体を含み、前記一体型の本体が、

第 1 平面内にあり、光線を放出するための少なくとも 1 つの光源を受けて支持するように適合された第 1 部分と、

前記第 1 平面に略直交する第 2 平面内にあり、前記第 1 部分から第 1 方向に延び、前記ランプ組立体のハウジングに取り付けられるように構成された第 2 部分と、

前記第 1 平面に略直交するとともに前記第 2 平面に略平行な第 3 平面内にあり、前記第 1 部分から前記第 1 方向に延びる第 3 部分と、
を備え、

前記ランプ組立体は反射面を有し、前記第 3 部分は、前記反射面から遠ざかるように投射される前記光線の少なくとも一部を受けるとともに構成されており、

前記第 3 部分は、光線の前記一部を受けるとともに面を有し、この面が、受けた光を前記反射面に向かわせるように構成されている、ヒートシンク。

【請求項 10】

前記第 3 部分が、湾曲した形状、段付きの形状、および非対称な形状のいずれかを有する縁部を有する、請求項 9 に記載のヒートシンク。

【請求項 1 1】

前記第 3 部分が、湾曲した形状、段付きの形状、および非対称な形状のいずれかを有する縁部を有する、請求項 1 に記載のヒートシンク。

【請求項 1 2】

前記第 3 部分が、湾曲した形状、段付きの形状、および非対称な形状のいずれかを有する縁部を有する、請求項 3 に記載のヒートシンク。